

Department of Pediatrics, Tsukiyama Hospital

月山病院小児科

住所 〒640-8269 和歌山市小松原通り1-3 電話 073-423-2300 FAX 073-423-4000
 E-mail tsuki423@oregano.ocn.ne.jp
 ホームページ http://www4.ocn.ne.jp/~tsuki-hp/ (～は#・#・トの@の上の^をshiftで変換)

今月の小児科診察予定

7月15日(火)、8月5日(火)は午後から大学診察のため時間外対応できません
 7月21日(月、海の日)は9-12時で日直診察をおこないます
 金曜日午前中の診察は月山聖子が担当します、女性ならではの視点もあるかと思ひます
 育児相談等おきがるに御相談下さい



今月の顔

優ちゃん、おちゃめになったね

連載：今月はこんな月 7月はこんな月

7月前半は感染症が多い時期です、水ぼうそう、溶連菌、夏かぜとよばれるウイルス感染症(手足口病、ヘルパンギーナ、アデノウイルスなど)が多く発生します、髄膜炎や細菌性腸炎が流行する年もあり、食中毒がでることもあります、ただし感染症は夏休みに入ると急速に少なくなっていきます、梅雨あけまではダニが多く発生するため喘息のかたも調子はよくない時期です、気温が高くなってくると皮膚の病気も多くなります、虫さされや"とびひ" "水イボ"などが増えてきます、小児科ではインフルエンザの時期について混みあう時期であり、御迷惑をおかけすることもあるかと存じますがよろしくお願ひいたします

境界領域(整形外科)
漏斗胸
 胸の中心部がへこんでいる場合に漏斗胸といわれます、男性に多く原因は不明とされています。
症状は?
 場所が胸であるので心臓や肺に影響があるのでは、と心配される方も多いのですが最重症例を除き胸の変形だけで症状はなく心臓や肺の機能に影響はありません
どうなるの?
 体が大きくなるにつれて目立たなくなることもあるのですが、変化しないこともあります
治療は?
 体への影響がないかぎりには放置してもかまいません、しかし変形が強い場合、精神的な負担となることもあり、この場合は治療することがあります、方法は手術する以外はありません

小児の皮膚疾患続編

夏になると皮膚の状態が悪くなりがちです、皮膚疾患については以前(十号、二十三号)にもお話ししましたが、今回夏に再度リニューアルしてお話させていただきます。

とびひ(伝染性膿痂疹)

通常の皮膚や鼻腔にいて悪さをしない細菌が皮膚を引っ掻くことなどによって傷ができたところに繁殖しておこります、細菌が繁殖しやすいため夏に起こることが多い疾患です、アトピー性皮膚炎などで皮膚の痒み強いと皮膚の傷も多いため広がりがやすく、また水ぼうそうや虫さされ、あせもなどの皮膚疾患の後が続いておこることもあります、顔では鼻の穴の下から広がることも多くみられます

治療は?

内服の抗生剤と皮膚の消毒液、塗る抗生剤を処方します、内服の抗生剤を疑問に思われるかたもおられますが、とびひの特徴は一旦繁殖してしまつた細菌が手などを介して他の部位や他人にとんでいくことであつてこれを防ぐには内服の抗生剤が不可欠です、はじめの抗生剤で治らないこともあつて何度か変更することもあります、また一旦軽快したようにみえて手をゆるめると再発してこることも特徴です

家庭内では?

お風呂はいつてもらつて結構ですが、こしこし洗わないようにし、お風呂から出れば消毒と抗生剤を塗つてあげて下さい、手を介してとんでいくことが多いので手洗いをしっかりし、手を鼻腔にはもつていかない(鼻腔にはとびひの原因菌が沢山います)ようにしてください、幼稚園や保育所の登園についてはそれぞれ施設によって異なりますが、他人に患部が直接触れないような場所で、軽快傾向であれば可能なことが多いです

あせも(汗疹)

汗が皮膚のなかに貯留してしまつたためにでてるブツブツのことをいい、汗の分泌が盛んな夏におこってきます

治療は?

塗るお薬も処方しますが、重要なことは汗をかくている原因を排除することです、子供は体温が高いため親の感覚では厚着を強制していることもあり、クーラーも必要かもしれません、でている場所がどこであるか観察して、そこを涼しく乾燥した状態にすることが重要です、おしりにでてひどい時はおむつを外しておく時間を多くすることも効果的です

月山病院小児科では子供達に有益な情報をお知らせするために月一回院内報を発行しております

水イボ(伝染性軟属腫)

白く丸く盛り上がったイボが体(お腹が多い)にでてくる病気で、数は人によって様々ですが、皮膚以外の症状に発展することはありません

治療は必要なの?

水イボは1年程度で自然軽快するともいわれています、少数であれば経過観察してもよいでしょう、しかし水を介してはうつりませんが直接触れば(タオルやビーチ盤などの共有を含む)他人にも感染します、数が多くなりすぎると治療も困難になるため十個程度になれば治療を考えて下さい

実際の治療は?

塗るお薬や飲むお薬もありますが最も確実で早いのはピンセットでとる方法です、確かに痛いですが、とる一時間程前に痛み止めのテープを貼れば痛みは軽減できますし一日ですんでしまいます、ただ、どんな方法でも再びでてくることはあります

日焼け

4月から8月にかけては紫外線が強くなり、日焼けする時期です、日焼けは皮膚ガンが多くなるといわれていますが日本人における紫外線と皮膚ガンとの明確な関連性は証明されておらず過敏になりすぎる必要はありません

注意することは?

日焼けすることが健康増進ではないので、日焼けを積極的にすすめてはいけません、また急激な日焼けはやけどと同じことですので海水浴などの際には時間に注意してください

薬は?

日焼け止めは基本的には成人と同様のものですが、2時間程度毎に塗り直して下さい、焼き過ぎて皮膚が赤くなり、痛み等がでた場合は受診してください